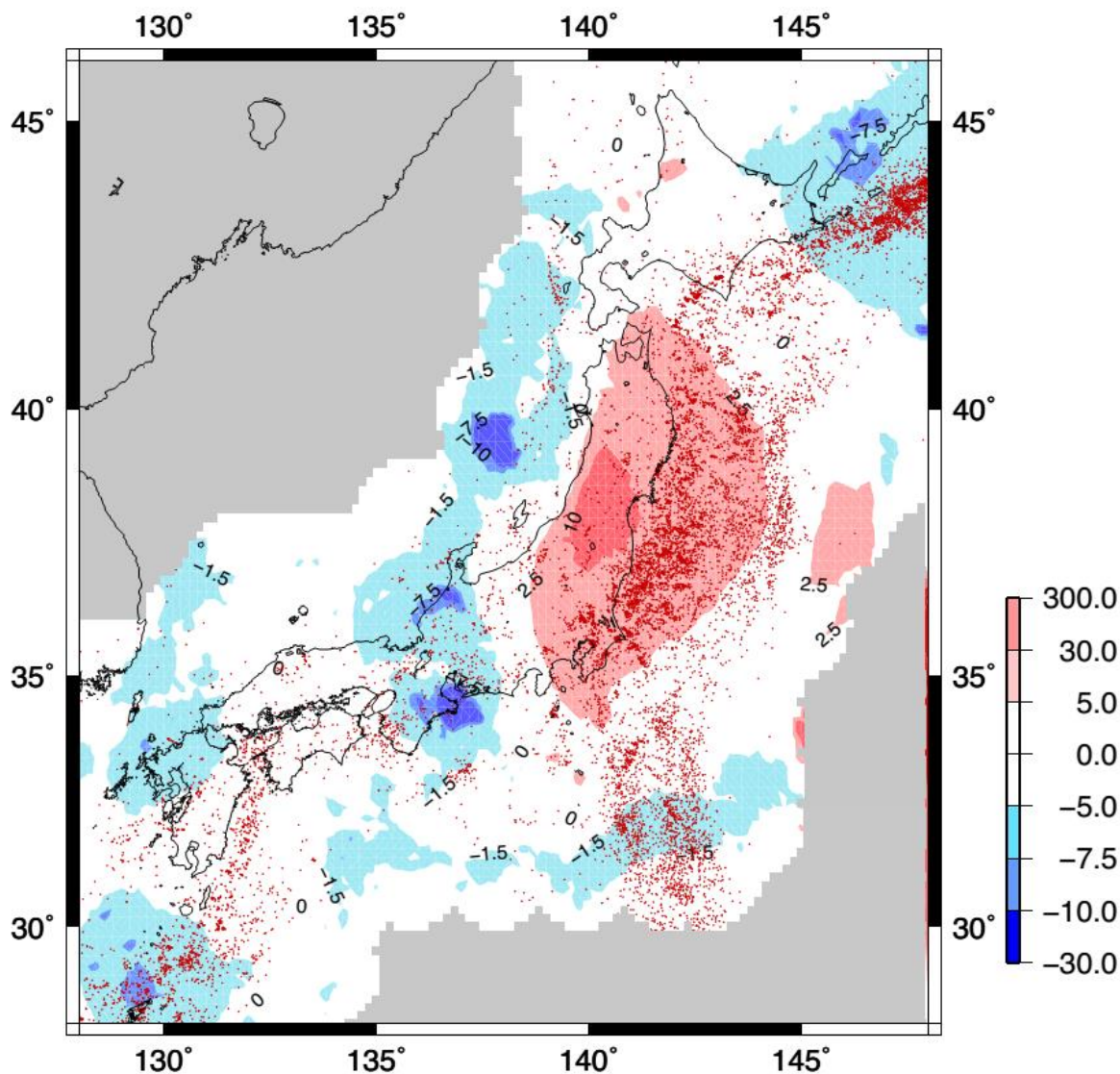


日本列島全体の状況

日本列島ではこの所、地震活動が少し活発になっているようにも見受けられます（たとえば9月3日に栃木県北部を震源としたマグニチュード5.2の地震等）。今回の情報は日本全体の地下天気図です。前回（2014年5月23日の情報）とは大きくパターンは変わっていません。これは本地下天気図で対象としている地震がM6クラスではなく、M7クラス以上のためです。一般に地震の規模が大きくなればなるほど、前兆現象発現の期間が長くなり、かつ領域も大きいと考えられています。ぜひ5月23日付のニュースレターも読み返していただければと思います。

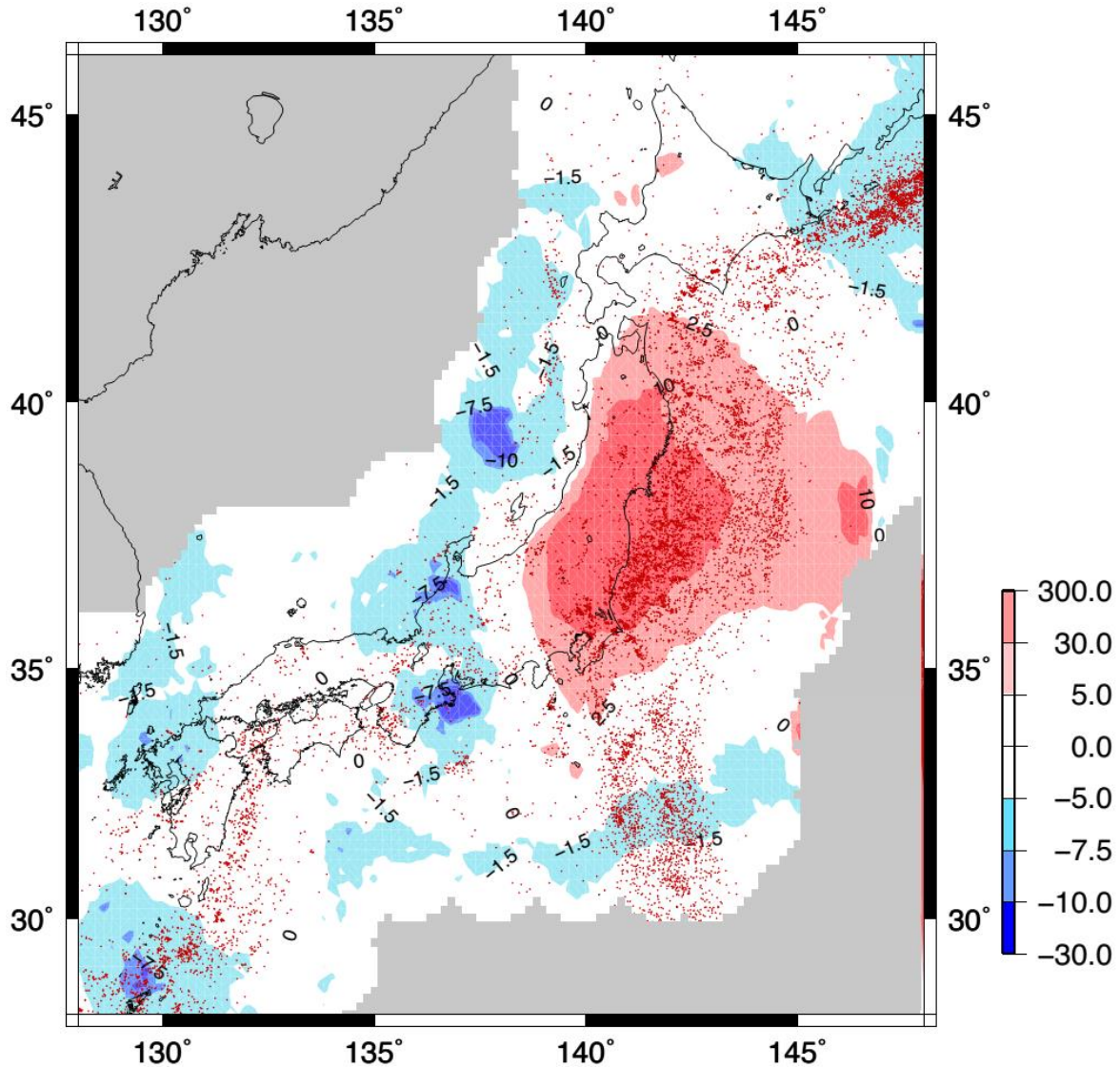
<http://www.sems-tokaiuniv.jp/DuMA/DuMAnews20140523.pdf>

また東北地方が赤くなっているのは311の影響がまだ強く残っており、現在でもこの地下天気図だけでは予測が難しい事を意味しています。東北地方につきましては、311以降の地震活動のみを用いた解析を現在実施しております。



2014年8月31日現在の広域的な地下天気図。
前回の5月23日のものとほとんど変化はありません。

2014年5月23日付情報でお示した地下天気図。311の影響が大きく残っているのがわかります。



5月の段階と8月末の段階で最も変化したのは北方領土付近です。青い領域が増えており、静穏化が進んだ事がわかります。